介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

＜プログラム構成＞

分野	科目名	主な対象
Ⅰ 新カリキュラムに関すること	1.　求められる介護福祉士像と新カリキュラム	新任、非常勤
	2.　介護福祉士養成課程における修得度評価基準	専任
	3.　カリキュラムツリー作成　～学びの流れと科目間連携～	全教員
Ⅱ 介護教員講習会の基礎分野に関すること	4.　基礎：新たな視点 ①地域における介護実践 ②チームケアを推進するためのマネジメント	全教員
	5.　専門基礎：教育方法の基礎_シラバスの意義及び授業計画	新任、非常勤
	6.　専門基礎：授業の評価方法_授業評価の基礎	新任、非常勤
Ⅲ 介護教員講習会の専門分野に関すること	7.　介護過程の展開方法Ａ	新任、非常勤
	8.　介護過程の展開方法Ｂ	専任
	9.　介護のためのケーススタディ	新任
	10. 学生指導	専任
	11. 実習指導方法	新任、非常勤
Ⅳ 教育方法に関すること	12. アクティブラーニングを活用した授業展開	全教員
	13. 個人差に対応した授業展開①　外国人留学生	全教員
	14. 個人差に対応した授業展開②　学習に課題を抱える学生	全教員
	15. ＩＣＴを用いた新たな授業方法	全教員
	16.「地域」を学ぶ授業のつくり方	全教員

＜共通参考文献（テキスト）＞

以下の参考文献（テキスト）は、次ページ以降では書名のみを記載しています。

・共通１）公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会（平成 31／2019 年 3 月）「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書　～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」
・共通２）公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会（平成 31／2019 年 3 月）「介護福祉士養成課程新カリキュラム教育方法の手引き」
・共通３）公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会（平成 31／2019 年 3 月）「介護福祉士養成課程における修得度評価基準の策定等に関する調査研究事業報告書」
・共通４）公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会（平成 32／2020 年 3 月）「介護過程展開の実践力向上のための調査研究事業報告書」

Ⅰ－１.求められる介護福祉士像と新カリキュラム

主な対象：新任、非常勤

目的・ねらい	・介護福祉士教育の全体像を理解するために、介護福祉士の教育の指針となる「求められる介護福祉士像」の内容を理解する。それに基づき新カリキュラム（３領域と医療的ケア）の中に展開されている内容を理解する。
講　師	・荏原　順子／目白大学　人間福祉学科
研修概要	(1) 介護福祉士教育の目標と「求められる介護福祉士像」 (2) カリキュラムの中に展開されている観点：チームマネジメント能力を養うための教育内容、対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上等 (3) 介護福祉士の養成カリキュラムの領域：三領域「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」と医療的ケア
時間数	(1)15 分／(2)15 分／(3)30 分　　計 60 分
参考文献	・共通 1)「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書　～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」 ・共通 2)「介護福祉士養成課程新カリキュラム教育方法の手引き」

Ⅰ－２.介護福祉士養成課程における修得度評価基準

主な対象：専任

目的・ねらい	・介護福祉士養成課程における修得度評価基準の目的、期待される効果について理解する。 ・修得度評価基準の活用方法について理解する。
講　師	・川井　太加子／桃山学院大学　社会学部　社会福祉学科 ・本間　美幸／北翔大学　生涯スポーツ学部　健康福祉学科
研修概要	・介護福祉士養成課程における修得度評価基準作成の背景・目的について ・修得度評価基準の枠組みとなる 7 つのコンピテンシーと 24 の具体的能力について ・修得度評価基準の見方と活用方法について ・「介護過程」を例にあげて
時間数	計 40 分
参考文献	・共通 2)「介護福祉士養成課程新カリキュラム教育方法の手引き」 ・共通 3)「介護福祉士養成課程における修得度評価基準の策定等に関する調査研究事業報告書」

Ⅰ-３.カリキュラムツリー作成　～学びの流れと科目間連携～

主な対象：全教員

目的・ねらい	・科目間連携、統合が理解できる ・カリキュラムツリーとその活用が理解できる
講　師	・津田　理恵子／神戸女子大学　健康福祉学部　社会福祉学科
研修概要	(1) 科目間連携・統合　・介護福祉士養成新カリキュラムにおける学びの流れと科目間連携 ・科目間連携・統合と例 (2)カリキュラムツリーとその活用　・カリキュラムツリーと例 ・カリキュラムツリー活用により期待される効果 ・カリキュラムツリー活用の場
時間数	(1)30 分／(2)30 分　　計 60 分
参考文献	・共通 2)「介護福祉士養成課程新カリキュラム教育方法の手引き」 ・共通 3) 介護福祉士養成課程における修得度評価基準の策定等に関する調査研究事業報告書」

Ⅱ-４.基礎：新たな視点_①地域における介護実践/②チームケアを推進するためのマネジメント

主な対象：全教員

目的・ねらい	(1) 求められる介護福祉士像を志向して介護福祉教育を展開するために、新カリキュラムにおいて教授が求められる地域における介護実践について理解する。 (2) 求められる介護福祉士像を志向して介護福祉教育を展開するために、新カリキュラムにおいて教授が求められるチームケアを推進するためのマネジメント方法について理解する。
講　師	(1) 井上　善行／日本赤十字秋田短期大学　介護福祉学科 (2) 新口　春美／金城大学　社会福祉学部
研修概要	(1)・新カリキュラムにおける「対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上」の観点の教育上の展開 ・地域共生社会の実現に資する介護福祉実践の理解 (2) ＯＪＴ、ＯＦＦ-ＪＴ、ティーチング、コーチング、スーパービジョンなど人材育成の方法を概説する。
時間数	(1) 40 分／ (2) 20 分　計 60 分
参考文献	・「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」最終とりまとめ（令和元年 12 月 26 日 地域共生社会推進検討会） ・共通 1)「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書　～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」 ・共通 2)「介護福祉士養成課程新カリキュラム教育方法の手引き」 ・共通 3) 介護福祉士養成課程における修得度評価基準の策定等に関する調査研究事業報告書」

Ⅱ-５.専門基礎：教育方法の基礎_シラバスの意義及び授業計画

主な対象：新任、非常勤

目的・ねらい	・よい授業をつくるためには、授業の技術や方法を工夫するだけでは十分とはいえません。授業を展開するためには、その授業のシラバスや授業案を十分に行うことが、より良い授業をつくるために必要不可欠なものになります。その「シラバス」や「授業案」の意義や作成手順を学びます。
講　師	・白井　幸久／群馬医療福祉大学短期大学部
研修概要	(1) シラバスの意義 ・シラバスの記述内容と方法 ・学生の学習状況を理解すること、担当する科目の位置づけを把握すること、授業の目的や到達目標を設定すること、シラバスの記述内容と方法など (2) 授業案の意義 ・授業案の作成方法 ・授業案「(導入)・(展開)・(まとめ)」など
時間数	(1)30 分／(2)30 分　　計 60 分
参考文献	・共通 1)「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書　～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」 ・「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説（福祉編）」文部科学省

Ⅱ-６.専門基礎：授業の評価方法_授業評価の基礎

主な対象：新任、非常勤

目的・ねらい	・授業の実施が終了すれば、その教育効果を検証するために「成績評価」を行い、学生の理解度を把握することで、次年度の講義の改善等を図るために行います。その成績評価の基礎を学びます。
講　師	・白井　幸久／群馬医療福祉大学短期大学部
研修概要	(1) 成績評価の目的と機能 ・成績評価の目的 ・教育・学習評価の種類（講義、演習、実技など） ・教育評価機能など） (2) 成績評価の方法と特徴
時間数	(1)30 分／(2)30 分　　計 60 分
参考文献	・共通 1)「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書　～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」 ・「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説（福祉編）」文部科学省

Ⅲ-７.介護過程の展開方法Ａ

主な対象：新任、非常勤

目的・ねらい	・介護福祉士養成教育における介護過程の位置づけを理解する。 ・介護過程の展開を軸とした介護実習や、介護実践の際に不可欠な支援方法であることを理解する。 ・「Ⅲ-9. 介護過程の展開方法Ｂ」研修を受講するためのレディネス形成ができる。
講　師	・上田　剛／河原医療福祉専門学校　介護福祉科
研修概要	(1) 概論：「介護過程とは」意義・目的及び、介護福祉士養成教育の中の「介護過程」を学ぶ必要性と「介護実習」の最終到達点を示す。 (2) 小事例からの理解:小事例を使い介護過程の展開場面を紹介することにより、介護過程の展開を身近なものとする。(容易に想像できる事例を使用)
時間数	計 30 分
参考文献	・共通 1)「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書　～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」 ・共通 2)「介護福祉士養成課程新カリキュラム教育方法の手引き」 ・共通 3) 介護福祉士養成課程における修得度評価基準の策定等に関する調査研究事業報告書」 ・共通４)「介護過程展開の実践力向上のための調査研究事業報告書」

Ⅲ-８.介護過程の展開方法Ｂ

主な対象：専任

目的・ねらい	・介護過程の展開について、養成校として教授すべき部分および視点を共有する。 ・介護過程の教授や指導の実践事例の素材を紹介しつつ、各養成校で活用している教材のブラッシュアップにつなげることができる。
講　師	・平野　啓介／旭川大学短期大学部　生活学科生活福祉専攻
研修概要	(1) 概論：介護過程およびその展開：介護過程の教育内容のねらい、教育に含むべき事項を示す。次に、ケアプランと個別介護計画の関係性、介護過程の意義と目的、展開過程（アセスメント、計画、実施、評価）の教授すべき部分および視点について触れる。 (2) 実践事例の素材紹介：介養協発行「報告書（下記文献)」に掲載されている実践事例を取りあげ、教材のブラッシュアップへの参考として紹介する。
時間数	(1)40 分／(2)20 分　　計 60 分
参考文献	・共通 1)「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書　～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」 ・共通 2)「介護福祉士養成課程新カリキュラム教育方法の手引き」 ・共通 3) 介護福祉士養成課程における修得度評価基準の策定等に関する調査研究事業報告書」 ・共通４)「介護過程展開の実践力向上のための調査研究事業報告書」

Ⅲ-９.介護のためのケーススタディ

主な対象：新任

目的・ねらい	・介護福祉現場に関わる事象からの気づきを、課題解決する研究方法について理解できる。 ・事例研究（ケーススタディ）からエビデンスを導き出す方法を選択できる。 ・介護福祉関連学会への参加ができる。 ・興味関心を深める研究活動に参画できる。
講　師	・野田　由佳里／聖隷クリストファー大学　社会福祉学科　介護福祉コース
研修概要	(1) 概論：研究方法の入門から、実践報告及び事例検討、事例研究（ケーススタディ）の特徴について概説する。 (2) 方法論：ケーススタディの紹介を行う。事例を調べ、分析、検討する一連のプロセスを体験する。背後にある原理や法則を導き出すために、質的な調査方法を用いる。また帰納法についての理解を促す機会とする。一部ツール利用による量的分析を試みる。
時間数	(1)30 分／(2)30 分　　計 60 分
参考文献	・共通 1)「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書　～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」 ・共通 2)「介護福祉士養成課程新カリキュラム教育方法の手引き」

Ⅲ-10.学生指導

主な対象：専任

目的・ねらい	・介護福祉士養成教育における学生指導の意義を理解する。 ・介護福祉教育の視点から学生理解を深め、今後の学生指導に繋げることができる。 ・学生自身の力を引きだし、課題解決のための行動を学生自身が自ら考え、自ら実践する能力を導き出す。
講　師	・溝部　佳子／別府溝部学園短期大学　介護福祉学科
研修概要	(1) 概論： 学生指導の意義と視点、その基盤となる学生理解や望ましい人間関係づくりと集団指導・個別指導を示す。さらに、学校全体で進める学生指導等を紹介する。 (2) 「介護福祉士養成校における教育上の課題と求められる研修プログラムに関する調査」から課題を抽出し、現在の学生傾向に合わせた学生指導や教員の職業的アイデンティティ（教職アイデンティティ）を学ぶ機会とする。
時間数	(1)20 分／(2)40 分　　計 60 分
参考文献	・「生徒指導提要」文部科学省 ・共通 1)「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書　～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」 ・共通 2)「介護福祉士養成課程新カリキュラム教育方法の手引き」 ・共通 3) 介護福祉士養成課程における修得度評価基準の策定等に関する調査研究事業報告書

Ⅲ-11.実習指導方法

主な対象：新任、非常勤

目的・ねらい	・介護実習の位置づけ（カリキュラムや区分など）を理解する。 ・介護実習「前、中、後」におけるそれぞれの知識・技術などの指導方法を理解する。 ・介護実習における多様な学生に対しての効果的な指導を修得する。 ・巡回指導を非常勤講師に委ねている場合も多くみられ、養成校での指導内容を理解する。
講　師	・石岡　周平／町田福祉保育専門学校　介護福祉学科
研修概要	(1) 実習前－実習前準備についての指導（実習の意義・目的、実習施設等の理解、記録の意義・目的・記入方法、実習先との連携、多職種協働、ルールなど） (2) 実習中－実習中の指導について（健康管理，コミュニケーション方法、個人情報、巡回指導［方法・学生の悩み事例］、反省会など） (3) 実習後－実習後の指導などについて（お礼状、実習報告会（振り返り）や反省、評価（自己評価と他者評価）、就職など）
時間数	(1)30 分／(2)30 分／(3)30 分　　計 90 分
参考文献	・共通 2)「介護福祉士養成課程新カリキュラム教育方法の手引き」 ・「介護実習指導のためのガイドライン」日本介護福祉士会(2019 年 3 月) ・「介護福祉士養成カリキュラム改正を見据えた介護実習科目の実習指導体制のあり方に関する調査研究事業報告書」日本介護福祉士会(2019 年 3 月)

Ⅳ-12.アクティブラ-ニングを活用した授業展開

主な対象：全教員

目的・ねらい	・介護福祉士養成に必要なアクティブラーニングの理念と理論を理解する。 ・自分の授業の現状と課題を把握し、改善方策を見通す。
講　師	・藤村　裕一／国立大学法人鳴門教育大学　学校教育研究科
研修概要	(4) アクティブラーニングが必要な背景 介護福祉士に求められる資質・能力と,学生に求められる学力 (5) 具体的な授業設計論 ・介護実習指導の改善策 ・問題発見・解決学習の授業設計 アクティブラーニングに必須な個別最適な学びと協働的な学びの両立
時間数	(1)30 分／(2)30 分　　計 60 分
参考文献	

Ⅳ-13.個人差に対応した授業展開①_外国人留学生

主な対象：全教員

目的・ねらい	・外国人留学生の困りごとを理解できる。 ・困りことに対応した指導方法を導き出すことができる。 ・外国人留学生の学びの環境を整えることができる。
講　師	・嶋田　直美／和歌山ＹＭＣＡ国際福祉専門学校　介護福祉士科
研修概要	(1) 概論：外国人留学生の現状を説明する。 (2) 方法論：外国人留学生の困りごとやそれに対する指導方法について事例を用いて説明する。
時間数	計 30 分
参考文献	・国際交流基金・日本国際教育支援協会ホームページ（https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.hyml） ・一般社団法人職業教育・キャリア教育財団「介護福祉分野専門学校における留学生受け入れ事例集」（2016 年） ・日本介護福祉士養成施設協会「外国人留学生受入れに関するガイドライン」（2017 年）

Ⅳ-14.個人差に対応した授業展開②_学習に課題を抱える学生

主な対象：全教員

目的・ねらい	・学生の特性を理解できる。 ・学生の学ぶ意欲や発想力、創造力を十分に発揮できるよう、学びの環境を整えることができる。 ・教員の「気づき」を具体的な学習支援につなげる。
講　師	・木村　あい／神戸女子大学　健康福祉学部社会福祉学科
研修概要	(1) 概論：学習に課題を抱える学生の現状を説明する。 (2) 方法論：教員の気づきを具体的の学習支援につなげ、学びの環境を整える方法について事例を用いて考える。
時間数	計 30 分
参考文献	

Ⅳ-15.ＩＣＴを用いた新たな授業方法

主な対象：全教員

目的・ねらい	・遠隔授業を柔軟に取り入れることで教授する方法を増やすことができる ・遠隔授業の手法を取り入れ、他の授業を観ることにより教員間で科目の連携を図ることができる、学生同士・教員間同士でピアレビューすることができる ・ＩＣＴ初心者でも使用できるGoogle社のG Suiteを活用した福祉教育について知る。 ・アプリケーションツールを活用し，遠隔授業でも対面授業でも双方向性の授業ができる可能性について考える。
講　師	・吉岡　俊昭／トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科 ・中山　見知子／群馬県立伊勢﨑興陽高等学校　福祉系列長
研修概要	(1) 実践報告：生活支援技術を遠隔授業として行った成果と課題 (2) 実践報告：ＩＣＴ（Google社のG Suite）を活用した、双方向性の授業展開－福祉系高等学校におけるＩＣＴの活用を例に－
時間数	(1)30分／(2)30分　　計60分
参考文献	

Ⅳ-16.「地域」を学ぶ授業のつくり方

主な対象：全教員

目的・ねらい	・介護福祉士が地域を学ぶ必要性を理解できる ・介護福祉士養成において学生が地域と関わることの必要性を理解できる ・学生と地域資源のつながり方を学ぶことができる ・実践を通してチームをマネジメントする必要性を理解できる
講　師	・吉岡　俊昭／トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科
研修概要	(1) 概論：介護福祉士が地域を学ぶ必要性について (2) 実践報告：対象者の生活を地域で支える実践力の向上を目指し、本校では新たに「社会貢献活動」という授業科目を設置した。この授業の狙い、実践して見えてきた成果と課題について報告する
時間数	計30分
参考文献	